

「面接個票」記入・提出上の注意

1. 取扱いについて

- この面接個票は、第2次選考面接テストの際に使用するものです。
 - ・ あらかじめ記入しておいてください。
 - ・ 面接当日に必ずA4で両面印刷し、4部（原本1部、写し3部）持参してください。
 - ・ 面接当日に持参しなかった場合は、面接テストを受験できないことがあります。
- この面接個票は、手書きでの作成とPC入力での作成のどちらにも対応しています。
 - ・ 手書きでの作成の場合、ダウンロードした様式をそのまま（表と裏）印刷し、記入してください。
 - ・ PC入力の場合、様式のセルや行・列の幅、字体等を変えることはできません。
 - ・ 別紙への記入や資料の添付も認めません。
 - ・ 記入事項は、すべてこの様式の指定された欄に納まるようにまとめてください。（学歴、教員免許状、所有資格、職歴が指定の欄に収まらない場合は、「続き」に記入し、用紙左肩をホチキス止めしたものを提出してください。）

2. 記入について

- **配席番号**
 - ・ 点線の枠内は、空欄のままにしておいてください。面接当日に、試験会場で記入していただきます。
- **受験番号**
 - ・ 必ず受験票に記載された6桁の番号を記入してください。
- **カナ氏名**
 - ・ 必ずカタカナで記入してください。
- **氏名（受験票と同一氏名）**
 - ・ 必ず受験票に記載されたもの（本名）と同一の氏名を記入してください。
- **生年月日**
 - ・ 和暦（昭和、平成、令和等）で記入してください。
 - ・ エクセルシートに入力する場合は、西暦（xxxx/yy/zz）で入力すると、自動的に和暦で表示されます。

○ 年齢

- ・ 令和8年4月1日現在の満年齢を記入してください。

○ 選考区分

- ・ 「一般選考」もしくは「特別選考」を記入してください。

○ 出願区分

- ・ 以下の表を参照のうえ、各自の区分に応じて記入してください。

選考区分	出願区分
一般選考	I 一般対象者
	II 大学等推薦者
	III 常勤講師等経験者
	IV 大学3年生等選考通過者
特別選考	障がい者対象の選考
	現職教諭対象の選考
	大学院進（在）学者対象の選考

○ 校種等

- ・ 以下の表を参照のうえ、記入してください。

校種等 一覧		
小学校	支援学校 幼稚部・小学部 共通	養護教諭
小中いきいき連携	支援学校 小学部	栄養教諭
中学校	支援学校 中学部	
高等学校	支援学校 高等部	
	支援学校 自立活動（肢体不自由）	

○ 教科（科目）

- 出願校種等の欄に、「中学校」、「高等学校」、「支援学校 中学部」、「支援学校 高等部」と記入した人のみ、教科(科目)名を記入してください。ただし、科目区分のある教科については、地理歴史（世界史）、公民（倫理）、理科（化学）、工業（機械）のように、（ ）の中に科目名を記入してください。

出願校種等	出願教科（科目）
中学校	国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、技術、家庭、英語
高等学校	国語、数学、理科（物理、化学、生物、地学）、音楽、美術、書道、保健体育、家庭、農業、工業（電気、工業化学、工業デザイン）、商業、英語、看護、情報、地理歴史（日本史、世界史、地理）、公民（政治経済、倫理）、家庭・福祉共通
支援学校 中学部	国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、技術、家庭、英語
支援学校 高等部	国語、数学、理科（物理、化学、生物、地学）、音楽、美術、保健体育、家庭、農業、工業（機械、電気）、英語、情報、地理歴史（日本史、世界史、地理）、公民（政治経済、倫理）、家庭・福祉共通

○ 併願

- 『小学校』『中学校』『中学部』『高等学校』『高等部』に出願し、併願を選択している方は、【併願校種等】及び【併願教科（科目）】を記入してください。

○ 現住所、現住所以外の連絡先住所

- 郵便番号、住所（市町村郡町村、町域・番地、マンション名等）を記入してください。
- 現住所以外に連絡をとれる連絡先住所がある場合は記入してください。

○ 電話、上記以外の連絡先

- 携帯電話やスマートフォンの電話番号を「携帯番号」に、自宅などに固定電話等がある場合はその電話番号を「自宅など」に記入してください。
- 日中に連絡が取れる連絡先の番号を優先的に記入してください。
- 緊急時に連絡が取れる番号がある場合は、「上記以外の連絡先」欄に記入してください。
- エクセルシートに入力する場合は、（ 括弧 ）はなくても可とします。

○ 学歴

- 高等学校入学から現在までの学歴を記入して下さい。
- 「学校名」の欄には、「〇〇高等学校△△科」や「●●大学▲▲学部◆◆学科」など、学部、課程、学科名等も記入してください。
- 卒業見込の場合は、終期の欄に「令和8年3月」、区分の欄に「卒業見込」を記入してください。
- 大学院は、課程（修士、博士課程前期、博士課程後期等）、専攻学部、専攻科等を記

入してください。

- ・ 夜間学部又は通信制の場合は、学部、課程・学科の後に「(夜間)」又は「(通信)」と記入してください。
- ・ 最終学歴卒業後、単位取得のため科目等履修生として在学していた場合は、学校名、学部、課程、学科の後に「(科目履修生)」と記入してください。
- ・ 高等学校卒業認定試験(旧大学入学資格検定)に合格した方は、終期の欄に「合格年月」、学校名の欄に「高等学校卒業認定試験合格」または「大学入学資格検定合格」と記入してください。
- ・ 書ききれない場合は、「続き」のシートに記入してください。

○ 教員免許状

- ・ 教育職員免許状について、出願している校種、教科(科目)の免許状から優先的に記入してください。
- ・ 出願している校種、教科(科目)だけでなく、所有する全ての教員免許状(取得見込を含む)を記入してください。同一の校種、教科(科目)であっても、種類が複数(1種と専修など)ある場合は、それぞれ分けて記入してください。
- ・ 取得見込の場合は、取得年月日の欄に「令和8年3月31日取得見込」と記入してください。免許状授与権者が未定の場合は、空欄でも可とします。
- ・ 中学校技術に「特別免許状の取得を前提とした者」として出願している場合は、種類の欄に「特別」、取得年月日の欄に「令和8年3月31日取得見込」、免許授与権者の欄に「大阪府(教育委員会)」と記入してください。
- ・ 書ききれない場合は、「続き」のシートに記入してください。

※ 特別免許状は、社会的経験を有する者に、教育職員検定を経て授与されるものです。

※ 臨時免許状は、普通免許状を有する者を採用することができない場合に限り、教育職員検定を経て授与されるもので、有効期間があります。

○ 所有資格

- ・ 司書教諭資格、看護師免許、日本語指導資格、英語資格など、教員が職務を遂行する上で役に立つと思われる免許・資格等を中心に記入してください。

○ 教育実習校名

- ・ 実習を行った学校をすべて(3つある場合は3つとも)記入してください。また、実習を行っていない人及び教科により実習が必要でない場合は、その旨を記入してください。

○ 卒論・演習等テーマ

- ・ 卒業研究のテーマやゼミで研究している演習テーマ等について、簡潔に記入してください。

○ 過去に経験した校務分掌等

- ・ 現職教諭の方のみ、経験年数の長いものを中心に「教務部（3年）」、「進路指導主事として進路指導を5年間担当」などのように、簡潔に記入してください。

○ 職歴

- ・ 職歴を時系列に沿ってすべて記入してください。
- ・ いずれの学校にも所属せず、かついずれの仕事にも従事していない空白の期間がある場合には、在職期間の欄にその期間を記入し、[勤務先等の名称]の欄に「在家庭（○年○か月）」と記入してください。（※ 職歴記入例【ケース1】参照）
- ・ 学校教育法上の国立学校、公立学校又は私立学校に在職していた期間がある場合は、[勤務先等の名称]の欄に「■■立◇◇学校」等を、[職種・職名等]の欄に「教諭」等を記入してください。（※ 職歴記入例【ケース2】参照）

※ 継続して「同一校において同職名」で勤務していた「教職歴」を記入する場合は、空白期間（発令と発令の間の期間）が2か月以内であれば、1つの期間にまとめて記入してください。また、複数年度にまたがる場合も、空白期間が2か月以内であれば、1つの期間として記入してください。ただし、同一校において継続して勤務していた場合であっても、職名が変わっている場合は分けて記入してください。

- ・ 法人格名称を有する民間企業又は官公庁等において、常勤の職^{*}として勤務経験がある場合は、[勤務先等の名称]の欄に「株式会社▲▲産業△△本社」等を、[職種・職名等]の欄に「技術職主任（正社員）」等を記入してください。（※ 職歴記入例【ケース3】参照）

※ 常勤の職とは、勤務形態がフルタイムかつ、雇用形態が正規又は非正規のうち派遣社員若しくは契約社員等のこと（アルバイトやパートタイマーは除く。）を言います。

- ・ 在職歴に「休職又は停職に相当する期間」が含まれる場合は、[始期]と[終期]の欄にその期間を、[勤務先等の名称]の欄に「総務部企画厚生課」（所属している部署）等を、[職種・職名等]の欄に「病気療養のため休職」（理由）等を記入してください。（※ 職歴記入例【ケース4】参照）

※ 「休職又は停職に相当する期間」には、育児休業や産前産後に係る休暇など、休業・休暇・休日の期間は含みません。

- ・ 書ききれない場合は、「続き」のシートに記入してください。

勤務先等の名称（例）	職種・職名等（例）
<ul style="list-style-type: none"> ・ ■■■立◇◇学校 ・ 学校法人△△学園 ・ 株式会社●●スクール など	実習教員、寄宿舎指導員、常勤講師（産休臨時講師、育児休業任期付講師、臨時講師等を含む）、養護助教諭（臨時養護助教諭等を含む）、塾・予備校講師、専修学校・専門学校講師、日本語学校講師など ※正規職員（常勤/フルタイム）、非正規職員（フルタイム/パートタイム）、派遣職員、非常勤職員、会計年度任用職員など
<ul style="list-style-type: none"> ・ 大阪府庁■■■部◇◇局△△課 ・ 医療法人●●会 ・ 社会福祉法人▲▲ など	保育士、学童保育指導員、保健師、看護師、栄養士、ケースワーカーなど ※正規職員（常勤/フルタイム）、非正規職員（フルタイム/パートタイム）、派遣職員、非常勤職員、会計年度任用職員など
<ul style="list-style-type: none"> ・ 株式会社■■■産業◇◇本社 ・ △△株式会社●●支店 ・ ▲▲サービス など	一般事務、営業事務、経理事務、医療事務、技術職、営業職、販売・サービス業、飲食業、保険代行業、自営業、受付・案内・電話応接など ※正社員、契約社員、個人事業主、パートタイム、アルバイトなど

○ 志望動機

- ・ あなたが教員を志望したのは、どのような理由からですか。また、あなた自身のどのようなところが、教員に向いていると考えますか。さらに、教員としてどのようなことに重点的に取り組んでいきたいですか。具体的に記入してください。

○ これまで取り組んできたことについて

- ・ これまで取り組んできたことについて、出願している選考区分、校種等、教科（科目）にしたがって具体的に記入してください。

選考区分・出願区分	これまで取り組んできたこと
一般選考 （Ⅰ 一般対象者、Ⅱ 大学等推薦者、Ⅳ 大学3年生等選考通過者） 特別選考 （障がい者対象の選考）	これまで、最も力を入れて取り組んでこられたことは何ですか。また、そのことが学校教育にどのように役立つかについて具体的に記入してください。
一般選考 （Ⅲ 常勤講師等経験者） 特別選考 （現職教諭対象の選考）	これまで、教員（教諭あるいは講師等）としてどのようなことを心がけて実践をしてきましたか。具体的に記入してください。
特別選考 （大学院進（在）学者対象の選考）	大学院ではどのような研究をされてきましたか。概要を記入してください。また、大学院で研究したことを教員としてどのように活かしていきたいですか。具体的に記入してください。

○ ボランティア・クラブ活動等の経験について

- ・ スクールサポーターや子ども食堂、その他のボランティア等の経験がある場合は、具体的に記入してください。
- ・ ご自身が在籍した部・クラブでの活動経験等がある場合は、具体的に記入してください。
- ・ 都道府県または市町村教育委員会等が行う、いわゆる「教師養成塾」等に参加した経験等がある場合は、具体的に記入してください。

○ 自己PR

- ・ 「教員に向いているところ」、また、「教員としていかすことができる経験等」があれば記入してください。また、特にアピールしたい経験や特技等があれば具体的に記入してください。

○ 賞罰

- ・ 罰金以上の刑に処せられたこと又は懲戒処分若しくは分限処分を受けたことの有無について、チェック欄の「有・無」のどちらかにチェックし、「有」の場合は、判決確定年月日等又は処分年月日とその内容・理由（例：平成25年7月21日 懲戒免職児童に対するわいせつ行為）を記入してください。

○ 記名

- ・ 記入事項等を確認した年月日、氏名欄と同じ氏名（受験票に記載された本名）をご自身で記名してください。
- ・ ご自身での記名が難しい場合は、他者による代筆も可とします。代筆する場合は、受験者の氏名を記入した下部に、代筆者の氏名を記入してください。

※ 「記名」とは、氏名を記載することであり、自署のほか、他者による代筆等も含まれます。

3. 提出について

○ 提出の方法

- ・ すべての項目について記入した面接個票（原本：1部）を両面コピー（写し：3部）し、合計4部を面接当日に持参してください。
- ・ 学歴、教員免許状、所有資格、職歴等が指定の欄に収まらなかった場合は、「続き」に記入し、同様に4部用意してください。
- ・ 表裏印刷をした面接個票4部と、続きを記入した面接個票4部を、それぞれホチキス止めし、4セット用意したものを提出してください。